

テーマ2 がん検診を受けていないあなたへ

作品No. 1

鳥取県西部 50歳代 女性

私が癌になった訳

それは、閉経をあまくみていたからです。

2008年の12月に14日も生理がつづき、びっくりして、がん検診へ行き、ガンじゃなくて一安心、その後も不順でしたが、閉経前と思い、仕方がないかなーと過ごしていました。2010年の4月の健康診断で尿検査で+2が、でたので、近くの内科へ、そのとき、エコーで4cmのものが、おなかにあると言われたのに、すぐ産婦人科へ行かず、痛みもまったくないので、つい忘れて、生活していました。

2011年6月頃から急におなかが、めだってきて、それでもやっと7月末に産婦人科へ行くと、卵巣がはれて、10cmにもなっていました。結局とってみたらステージIのガンで、ゆ着もあり、抗癌剤も3回することになりました。閉経の頃は、本当に気をつけてください。子宮筋腫は、よく耳にしていますが、卵巣腫瘍は、あまり聞きませんでした。閉経だと喜んでいたら、とんだ落とし穴が、まっています。

私のような者が、1人でも減るよう、子宮や卵巣の検査は、ちゃんと受けましょう！ガンだけでなく、他の事もわかります。私のような女性が、1人でも減る事を、お祈りし、ペンをとりました。人生、これからという時に、癌になり、気持ちも沈みがちですが、必ず、元気になります。

作品No. 2

鳥取県西部 60歳代 女性

私の右乳房に脂肪腫ができ20才代の時手術したことがあります。

左乳房に小さなしこりをみつけたのは40才頃でしたが、脂肪腫と思っていました。私に乳癌があるのがわかり平成19年左乳房全摘出術を行い、4年になります。

一般の検診は受けていましたが乳癌検診は受けていませんでした。一般検診を受けた医療機関では「乳ガン検診は受けましたか」という指導は有りません。自分の体の事は自分の判断でするしか有りません。某病院の院長先生の講演で「自分の体の主治医は自分でなる事だ」と言われました。私も乳ガン経験者やその家族の方から乳ガン検診すすめられていましたが「まあ、何とかなるだろう」と軽く考えていました。50才過ぎた頃より大きなかぜをひくと上を向いて普通に寝れず入院する事がたびたびでした。喘息の治療もはじまり仕事から帰宅すると、何か疲れている事が多く、普通の仕事の疲れと思っただけでしたが、乳癌の手術後いろいろな本を読む機会が有り、今考えると体からの「SOS」だったのではと思う位同じ事が書かれていました。手術後は大きなかぜをひく事も入院する事もなく、早目に乳ガン検診受けていれば病気で苦勞する事も少なく、乳ガンの高い治療費にも経済面で大分違いがあったと思います。

その2年後大腸ガンの手術、上行結腸ガン初期でした。大腸ガンは便の検査が大事です。便に、肉眼的に血がまじっているわけではないですが、下腹部 重だるく違和感があり、某病院では夏バテといわれ毎日ゴロゴロと何をやる気力もなくなってしまい、一般検診を受けてない事に気づき便の検査もうけました。便の潜血(+)の結果でした。ここでへこんではおられないと某病院で精密検査をうけ大腸ガンが見つかりました。初期のガンで検診のおかげです。命をいとおしみ、生かされた命を大切に今生きている事が幸せです。

作品No. 3

鳥取県東部 70歳代 女性

皆さん 検診を受けましょう。

5年前に乳癌の手術をし、抗がん剤の内服2年、ホルモン剤の内服5年と放射線治療を受け経過観察中ですが経過の長い癌です。

この間、手術や治療による身体的苦痛や不快、少々の副作用を経験しました。最も心配であり不安なのは癌の再発や転移で、少しの身体の不調に一喜一憂します。本人の不安定な精神状態は家族にも知人、友人にも影響し、楽しく有意義な暮らしを左右することもあります。同時に経済的な負担も大きなものです。

今、何らかの癌を患う人は2人に1人とされておりまして。

如何に癌を早く見つけ、簡単な処置で終わり、再発や転移の心配を最小限にするか、そして、経済的負担も少なくし、見通しのある生活設計を考える時、定期健診は必ず実施すべきです。

作品No. 4

鳥取県東部 40歳代 女性

私がかんになって感じた事は、早期発見・早期治療の大切さでした。病気は自分ではなかなか早いうちに発見するのは難しいと思います。検診にはちょっと行きたくないなあという気持ちに負けないでめんどくさがらずに、そして気になる事があつたらまず検診してほしいという事です。

がんですと言われたら とても怖いけど 早いうちなら治療は軽くすみます。ぜひ自分の体は自分で守るという事を第一に考えてほしいと思っています。

作品No. 5

鳥取西部 60歳代 女性

「病気が分るのが怖いから検診を受けない」という知り合いがあります。無理をして働いて、どこそこ悪いところを自分では感じているからだ、私はその方について思っています。

検診で分からなくても自分で分かる場合もたくさんあります。私の場合、左の乳がんだったのですが、最初に自分で異常（三センチぐらいの硬いしこり）だと思ったのは右の乳房でした。明るる日病院へ行き、触診・エコー・マンモ・組織検査を受けました。そのときドクターから、「確かに右は腫れているが、右より左の方が怪しいですよ」といわれ、今度は左の組織検査を受けました。

「はい、がんです。二つありますが、二つとも一センチ以下です」とその場でいわれ、「まあ、簡単に言う時代になったんだわ」と思いました。

友人達からは「すぐ動いたから良かった、早かったから・・・」と褒めてもらいました。右乳房の硬いしこりは、検査に通っている一週間の中にすっかり無くなり、元の柔らかさに戻ってしまいました。乳腺症かなんかだったのでしょね。今、術後七年になり、乳がん患者会や、病院のがんサロンなどで「検診は大事よね」と話し合っています。

自分の身体に耳を傾け、何かこれまでと違うことがあるな？と感じられたら、即刻病院へ行きましょう。もし、検診の予約をしておられても、診察を優先してください。診察は自分だけのために、自分ひとりに向き合ってもらえる場なのでから・・・ね。